

c084-016-003

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University  
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

# 第11回 世界連邦世界大会

1963. 8. 24 ~ 30

「戦争なき一つの世界」

World Association of  
World Federalists

c084-016-004

## 世界連邦大会ひらく

### 湯川会長 交戦権放棄実現を

「戦争なき一つの世界」をスローガンに第11回世界連邦世界大会が二十四日午前十時十分から東京・上野の東京文化会館で開かれた。海外から四十七か国六百六十人

の代表をよめる国内の正副代表員約三千人が出席、三十日までの世界大会のフタをあけた。

この日の開会式には大会準備委員会理事長の三木岡山照知事が開会を宣言、世界連邦世界協会



世界連邦大会であいさつする湯川会長

長の湯川秀樹博士があいさつ、早川自治相、福田防衛庁長官、東郷知事(代理)らが大会を祝う言葉を述べた。続いて世界協会理事長のマックスウェル・スタンレー氏が海外参加者を代表してあいさつ、世界大会準備委員会長の川崎秀二副会長が、とくに出席したイギリスのアトリー元首相夫妻、フランスのロベール・ピロン元運輸相、インドのネル夫人らを紹介した。

続いて来賓あいさつにうつり、このなかでネル夫人は「世界各國の軍備が撤廃されなければ真の世界平和は実現の希望がない。大会が成功して新しい希望が燃え上がることを望む」とのネル首相のメッセージを披露して会場の拍手を浴びた。イギリスのマクミラン首相も「当面する重要な問題を有為に協議することを希望する」とのメッセージを寄せた。

同十一時すぎ開会式を終わりに同会館で全体会議を開き大会宣言の起草委員などを選んだ。午後からは分科会を開いて日本を代表し谷川徹三、笠原太郎氏が演説、二十五、六の両日は東条会館、尾崎記念館でそれぞれ分科会を開き、二十七日に再び全体会議を東京文化会館で開き、宣言、決議を採択して閉会式を行なう。このあと会場を京都に移し二十九、三十の両日総会を開き運動方針などを協議する。

#### 湯川会長の報告内容

過去十回の大会がヨーロッパの都市で開かれたのにくらべ、この十一回大会が日本で開かれたのは世界連邦の運動が地球的なスケールに発展したものと見て喜ばしい。この運動の根柢は環境を越えた広い人類間に結ぶものだが、いまわれわれは戦争の手段として核兵器を用いることができないうような場面に直面している。その意味で世界連邦を実現するため各國は交戦権を放棄すればよいことが理想である。いま直ちに強大な軍備を世界から撤廃することはむずかしいが、一つの例がここに示される。それは世界でただ一つの核兵器保有国である日本は憲法第九条により交戦権を完全に放棄した国であり、自らの保障をやがて実現される世界連邦におき、またそうされるであろうの期待をこめてつくられたものである。

どのような方法で交戦権を放棄し、軍備を撤廃して各國の主権の一部を超國家的権威にゆだねるか。この大会では経済や道徳面、平和を維持する面の問題についてそれぞれの分科会で討議したい。

## World Federalists Congress Opens

The 11th Congress of the World Association of World Federalists will open Saturday at the Tokyo Bunka Kaikan in Ueno, Tokyo, participated in by 2,300 delegates from 20 countries.

Lord Attlee, former British Prime Minister and vice-president of the WAWF, who arrived in Tokyo Friday night accompanied by Lady Attlee, will address the opening ceremony Saturday morning.

Delegates to the congress will discuss disarmament, economic development, moral aspects of the world federation, etc.

On the final day, the congress will adopt a Tokyo declaration.

c084-016-005